

# さつま 議会だより

平成23年7月7日発行

臨時号

## 初めての議会報告会を開催!!

参加者693名



2011/05/20  
《永野交流館》

5月12日から5月20日までの間の5日間、初めての取り組みとなる議会報告会を町内20会場において開催しました。報告会には延べ693名の参加者があり、どの会場でも多くのご意見・要望などが出されました。

その内容を項目毎に分けてまとめましたので皆さまにご報告します。

# 議 会 報 告 と の テ ー マ 3 項 に 関 する 意 見 交 換



## 議会報告について

### 《現状報告》

始めに各班の報告担当議員から、①議会とは、②平成23年度当初予算と議会関係予算の概要、③議員の報酬等、④平成22年定例会・臨時会での審議状況等、⑤平成23年3月議会における議案審議の概要、⑥3つの常任委員会及び特別委員会の調査・活動の状況等6項目について報告をいたしました。

### 《質疑・意見》

①報酬の日当制も考えてほしい。  
②費用弁償はなくてよいのではないか。  
③川内原発に関する特別委員会を設置すべきである。  
④所管事務調査や一般質問は、町の施策に反映されているか。  
⑤議会（員）は、政策提言や議員提案等、執行部と積極的な政策論争を挑んでいるのか。

議会活動などに対する数多くのご意見やご提言等をいただきましたので、あらゆる機会を捉えて検討してまいります。

また、今後各議員の一般質問や本会議・各常任委員会、議会運営委員会、また特別委員会の審議におきましても改善に向けて努めてまいります。

## (1) 庁舎建設について

### 《現状報告》

平成22年2月住民代表を含めた14人の庁舎建設検討委員会が設置され、基本的な考え方を盛り込んだ基本構想、基本計画が策定されました。庁舎は、まちづくりや町民の福祉向上を図っていくための重要な拠点施設であります。

### 《質疑・意見》

①町民に現庁舎の危険度や工事に伴う建設費、財政状況を説明すべきではないか。  
②今後の本・支所の業務及び支所の活用はどうなるか。  
③現在の本庁の位置は、進入の利便性が悪く、道路整備の必要性を感じる。災害を想定すると別の適地を物色した方がいいのではないか。  
④建設工事における駐車場確保を懸念する。また、業務への支障はないのか。  
⑤新庁舎は3階建が必要か。  
⑥庁舎は町の顔である。出来る範囲内で斬新的な庁舎を造ってもらいたい。  
⑦新庁舎建設計画にあたり、女性の意見は聴取しているのか。また行政案が先行し、委員は追認する形ではないか。



### 《回答》

各種の会合を活用し、庁舎建設の必要性や建設に係わる基本方針、財源計画等を説明し意見交換を行っているほか、広報さつま11月号に関連記事を掲載するなど、周知活動がなされています。

今年度は、いよいよ設計業務に着手しますので、町民が利用しやすい庁舎として広く意見をお伺いし、設計に反映させ、町民の視点にたった庁舎建設を目指すこととしています。

議会としましては、今回の皆様の貴重なご意見やご要望を参考にしながら審議を行い、町に提言してまいります。

## (2) 議員定数について

### 《現状報告》

議員定数は、法で定める上限を超えない範囲内で、町の条例で定められています。

さつま町は、平成17年3月の市町村合併による特例により議員数は28人となりました。

しかし、近年の行財政改革の推進という時勢等により、平成19年9月定例会で「さつま町議会議員定数条例」が改正され、平成21年4月のさつま町議会議員選挙以降は、議員定数は20人（8人減）となり、現在に至っております。



### 《質疑・意見》

- ①人口減少が進行している中で、議員の定数も報酬も減らすべきである。（定数16人）
- ②定数は維持しつつも、報酬を減らすべきである。
- ③若い人の立候補者が出にくいことから、定数を減らして報酬を上げるべきである。
- ④定数減は、地域の声を町政へ反映できなくなるので反対である。
- ⑤議会自らが判断し町民に示すべきではないか。
- ⑥定数減を議論する前に、議員資質の向上と意識改革に努めるなど議会の一体感を図ることが大事ではないか。

### 《回答》

議員定数については、皆様から出されましたご意見等を基に、行財政改革対策調査特別委員会で定数削減のメリット（財政効果等）、デメリット（多様な意見が反映されにくい等）を検証すると共に、参考人（例えば、区公民館・女性団体・青年団・PTA・高齢者クラブ・商工会・農協など各種団体の代表）の意見聴取と県内外の類似自治体における議会構成の状況を調査し、平成24年3月議会までに提案（発議）する予定です。



### 《現状報告》

小規模校にはその良さがある一方で、児童数の減少に歯止めがかからないことや、集団生活の中で切磋琢磨しながら成長できる環境づくりの必要性を考慮すると、小規模校では超えられない課題があります。

教育委員会では、「さつま町立学校適正規模等検討委員会」から答申された「学校の適正規模と適正配置について」の結果を踏まえ、よりよい学習環境を整えるための施策を推進していくこととしております。

### 《質疑・意見》

- ①学校は校区民の拠り所である。特認校も認め継続してほしい。
- ②員体的な方針は、地域の声を再度聴取してから出すべきである。

## (3) 学校再編について

### 《現状報告》

- ③小中一貫校を推進進めてほしい。
- ④将来を見据え、小規模校による統合でなく大規模校に統合してほしい。
- ⑤遠方からの通学のためのスクールバス運行を検討してほしい。（通学手段の確保）
- ⑥町内中学校4校を1校に再編する考えはないか。
- ⑦小・中学校の通学区域はどのように考えているか。
- ⑧廃校となる校舎の利活用案も併せて協議してもらいたい。

### 《回答》

学校再編については、各単位PTAや各区公民館等、町内44箇所において実施された説明会の結果や、学校適正規模等検討委員会の答申に基づき進められていくこととなります。



通学区域については、再編前の当核学校の通学区域を基本に検討されます。また、跡地の利活用については、答申の中で「地域の振興を図るため公共施設若しくは公共性の高い施設として活用する必要がある」との意見は踏まえながら、具体的には、地域の方々を含む「活用検討委員会」等の設置により方向性を検討する必要があると考えます。

議会としては、保護者等の思いや地域の現状を総合的に判断し、審議を進めながら、段階的に実施されるよう、教育委員会に提言してまいります。

# 町長に対する意見・要望等

## ◆行財政改革

- ①基金が増える中で、行財政改革はいつまで続けるのか。町民サービスに使用すべきではないか。
- ②電源立地交付金を地元へ還元する考えは。

## ◆環境整備

- ①農業施設からの悪臭がひどい。対策を講じてほしい。
- ②クリーンセンター周辺の環境調査は実施されているか。
- ③温泉ガス除去設備の設置に苦慮している旅館経営者がいる。町の対応を願いたい。

## ◆定住促進

- ①少子化対策と雇用対策は関係がある。企業誘致対策を望む。
- ②人口増対策として住宅建設時の補助制度を考えてほしい。

## ◆教育・福祉

- ①薩摩中央高校生(特に1年生)の通学手段について。
- ②旧宮中(屋地楽習館横)の跡地利用計画はないのか。また、旧宮中のプールの状況はどうなっているのか。
- ③特定検診の場所や地区見直しについて。
- ④特定検診が65%に達しない場合の町の負担はどのようになるか。また住民へはどのように周知・啓発を進めているか。
- ⑤過疎・高齢化社会に対する施策をどのように展開するのか。(空家、耕作放棄地、交通手段、独居生活者等)

## ◆公共施設整備

- ①町道等の整備と維持管理のあり方について。
- ②さらさら公園は指定管理者制度の導入を希望する。

## ◆農業政策

- ①農家の鳥獣被害は深刻な問題である。緊急に対策を講じてもらいたい。
- ②遊休農地の借り手に助成はできないか。
- ③6次産業化の推進はどのような状況か。
- ④集落営農はどのような推進状況か。
- ⑤土地改良事業の違約金問題に関し、未整備地区の除外はできないか。

## ◆災害関連

- ①川内原発の事故を想定した避難誘導など、防災計画を審議・検討されているのか。
- ②原発、ダム等の災害を想定したシミュレーション、マニュアルを示してほしい。
- ③町内の20<sup>区</sup>及び30<sup>区</sup>圏内はどの範囲か。
- ④激特事業後の内水対策を望む。
- ⑤災害時の避難施設や位置の再確認を。

## ◆その他関係

- ①交通弱者対策について町の取り組みを望む。
- ②公民会未加入世帯に対する町の取り組みを。
- ③元気再生事業は使いやすいように配慮を願う。
- ④公民会合併補助金については特例期間を延長してほしい。
- ⑤今後、条例公民館の取扱いをどのように進めるのか。

- ⑥鶴田ダムの操作規定について改善はできないのか。
- ⑦ダム再開発事業は、川内川魚生態系に影響はないのか。

※これらの意見事項等は、取りまとめで議長から町長に提出されました。

この他に、当日会場でお答えできなかった質問等については、後日、各区公民館長にお渡しする予定ですので、ご覧ください。

## 初めての議会報告会を終えて

議会が住民に信頼され、民主的なまちづくりの実現と効率的な行財政運営を図るには議会と町民との連携が極めて重要であります。

こうした中、今回、議会が地域へ出向き、議会活動や町政に対する意見、要望、提言などをお伺いし、議会審議への活用や議会運営の改善を図ることを目的に「議会報告会」を開催したところでございます。

町内20カ所の会場で、693名の参加をいただき、自由な形で情報や意見の交換ができたことは、私共議員にとって大変意義深いことでありました。

議会におきましては、皆様から賜りました貴重なご意見を、一つずつ精査しながら今後の議会運営と併せ滞りない町の前進に向けた活動を推し進めていくこととしております。

今回の報告会開催に当たり、ご協力いただきました各区役員の皆様方に感謝申し上げますと共に、今後とも議会に対しご理解とご教示を賜りますようお願い申し上げます。お礼といたします。

さつま町議会議長 中尾 正男

## 議会広報特別委員会委員

委員長 木下 敬子  
副委員長 川東 哲雄  
委員 川口 憲男  
委員 平八重 光輝  
委員 岩元 涼一  
委員 桑園 憲一